
自殺戦争

詩F

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

自殺戦争

【Nコード】

N0771L

【作者名】

詩F

【あらすじ】

この戦争にはルールがある。

そのルールに乗っ取り三つの国が戦争を始めた。

この戦争にはルールがある。

一つ目は先に全国民が自殺したほうの勝利。二つ目は国民の中に一人でも自殺以外で死んだ、または生きてたものが居る場合勝利は認められない。自殺以外で死んでしまったものは30分以内に住民票から消してしまえばセーフ、再び勝利国候補となる。

その二つのルールでこの戦争はなりたっている……

この物語はそのルールに乗っ取り戦争を行っている3つの国、ハジメ連邦、二ノ国、ミツメ合衆国の物語。

ハジメ連邦

「皆の衆、集まってくれてありがとう。今日から戦争が始まる。じやからな、おぬしたちに自殺していただきたい」

連邦の長が広場に国民を集め、そういった。

「国のために自殺なんてできるか!」「自殺するくらいなら戦争に負けたほうがいいわ!」「お国のためなんて時代は終わったのよ!」
国民は長に向かってさげんでいる。

「そうか、では仕方がない。一時退散じゃ」

長はあっさりとそう言った。その言葉を聞き、国民達は広場から離れ、家へと帰っていった。

二ノ国

「我らに残された術は一つ、国民が自殺することではない、他国の者を殺害することだ。殺害した後すぐに他国の役所を襲撃し、住民票を書き換えることをできなくすればよい! そうすれば他国は戦争に参加することが不可能になる! 出撃するものはあらかじめ住民票から消しておく、この戦争が終わった時に再び住民票に登録してやる」

「うおおおおッ!」「さすがです大臣! 自殺するのがすべてではないということですね!」「そこにしびれるあこがれるウ!」

歓声が沸き起こる。

そして二ノ国は出撃するものを住民票から消し、ハジメ連邦へと向かっていった。

ミツメ合衆国

「私たちはただ何も行動をしなければいいのです。そうすれば他の二つの国が勝手に死んでいってくれます。戦争に負けたとしても国民の居なくなった国を襲撃するなんて簡単な事。今はただ待つて居ればいいのです」

戦争の勝利国は二ノ国であった。

それから2年、この星を統一したのはミツメ合衆国だった。

(後書き)

これで連載、または長編が書けたらいいと思います。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0771/>

自殺戦争

2011年1月12日20時19分発行